

OAK

kashinoki
PressNo.54
2022-2023



勇往邁進

歴史を重んじ

2023年



Ibaraki Oak Lions Club

335-B 地区 6R1Z 茨木オークライオンズクラブ

感謝

会長 山本悠介



現役最年少会長・現役最年長幹事のコンビでスタートし、あっという間の1年間でした。

新年度を迎えるにあたり、幹事を誰にお願いするのか？全てはここからスタートでした。オークライオンズクラブは、若い現役世代とベテラン世代のバランスが非常によく保てているクラブであり、世代間分け隔てなくメンバー同士が楽しく活動できるクラブでありたいという思いがありました。

それを実現するためにも現役最年長であるL加藤（のぶりん）になんとしてでも幹事をやって頂きたく、何とか口説き落とし、その目標どおりに走りきることができたかと思えます。おかげをもちまして、優待会員の皆様や賛助会員の皆様にもたくさん例会や事業に参加して頂きました。

また今年度は「歴史を重んじ 勇往邁進」をスローガンに皆さんと共に勇ましく前に突き進んだ結果、多くの記念すべき事業を完遂することができました。運営において色々とは強引なところもあったかと想いますが、最後まで一緒に邁進して頂いたこと感謝申し上げます。

記念すべき1000回記念例会を100%例会にできたこと、また優待会員・賛助会員の皆さんにも参加して頂き、多くのメンバーで祝えたことを記録にも記憶にも残すことができました。会長重点事業では、元日に襲った北陸能登半島地震によりIBARAKI防衛防災フェスティバルを中止せざるをえなくなりました。しかし、新たに起案した「笑いを力に！よし

もとお笑いチャリティーライブ」が「おにクル ゴウダホール」での一般利用開始の記念すべき1回目のイベント開催、そして満員で実施できました。これはクラブにとっても私にとっても大きな記録となりました。

次年度には将棋の竜王戦 第四局も茨木市で開催が決定し、我々が25年間続けてきた少年少女将棋大会の実績も誘致に寄与されていると市長も公言されています。また現在、地区や市内4クラブの中でも世代のバランスが取れているクラブと評価を頂いており、1番活発に活動しているクラブだと認識されるようになりました。これも普段より皆さんが誇りを持って活動されている賜かと思えます。



引き続き皆様のご尽力をお願い申し上げます。
1年間、本当にありがとうございました。

この一年を顧みて

幹事 加藤信夫



幹事は以前やりました折に、先輩より幹事というのは、縁の下の力持的な存在でクラブ全体に目を配り、和を保つように努力しなければならない、クラブの要「扇の要」であり、クラブの盛衰がかかっており、大変重要な任務であるご指導頂きました。

山本会長から頼まれ引き受け時は、一年間体力が持ちこたえられるか不安でしたが、杞憂に終わりました。

「勇往邁進」「豪放磊落」で気配りと実行力のある素晴らしい会長の下で、一体となってやって来たつもりですが、ただ幹事の任務が十分に果たせたか疑問で至らない点が多くあったのではないかと考えております。

残念なことは、会長の肝煎りの事業「防衛防災フェスティバル」が能登地震により、中止となりました事、そして新入会員3名を迎えましたが、退会者が3名も出てしまいました。この一年を顧みますと「茨木フェスティバルかしの木出店」「ビッグバンドジャズ」で始まり大繁盛でした。「献血奉仕運動」ではメンバーも献血をして頂きました。

「ふれあいフェスタ」「平和ポスターコンテスト」「少年少女将棋大会」「かしの木ボーリング大会」と皆大盛況でした。メンバー丸となって行い、多くの方々に喜んで頂いたと思っております。

「1000回記念例会」では、岡田委員長のご努力により出席率100%で私も貴重な体験をさせて頂きました。「クリスマス例会」「花見例会」も和気藹々とした例会でした。

又「柏オーク40周年ツアー」には17名の方が参加し、楽しい2日間でした。

会長重点事業「よしもとお笑いチャリティライブ」も満員の大盛況で、皆さん大笑いで喜んで頂きました。会長の挨拶も素晴らしく、皆さんによくわかるようにオークライオンズをPRして頂き最高に良かったです。

何れの事業、例会もクラブ役員、各委員長、メンバーの皆様の実績ある行動により、ご尽力頂いたおかげで、有意義に終えることができました。

最後に、事務局の宮城さんは聡明で、機転の利く方で、几帳面に処理して頂きました。

私のやらなければならない事務の仕事全てをやって頂き、おかげで無事に終わることができ、心から感謝しております。この一年間メンバーの皆様には何かとお世話になり、ご支援ご協力を頂きまして本当にありがとうございました。

にぎやかな一年振り返り

会計・青少年育成副委員長
社会奉仕委員会委員
西川 明

社会奉仕委員会としては例年のごとく昨年より準備をすすめてビッグバンドJAZZフェスタを開催させていただきました。

9バンドの演奏で入場料1000円をいただいていたのですが、お客さんは増えもせず減りもせずということも多くの人に（演者もふくめて）楽しんでいただけたかなと思います。

青少年委員会では将棋大会の開催。会場をおさえるところから手間がかかり10月1日から一般に先立ち予約できると聞いていたのですが、その時はすでに役所から予約が入った後だったので、何とかならんかなと思ながら会長の「猪突猛進」でなんとか開催できました。子どもたちの参加人数は少なかったのですが、大会は当日一般参加のトーナメントも含めて熱戦が繰り広げられレベルの高い大会となりました。次年度は竜王戦もおにクルで開催とのことで楽しみです。

かしの木ボーリング大会では会場の空きと3施設の予定が合わないことで4月の開催となりました。

3施設の多くの子どもたちが参加していただき会場いっぱい

の参加人数になりました。

PS. なんとか会場に収まった参加人数だったので各施設に参加上限を最初に設定した方がいいのかも。

空きレーンがなく当初考えていたメンバーの参加ができませんでした。子どもたちに楽しんでいただけたと思います。

最後に会計としては事務局にお任せで特に何もすることは無く、最後の方にゆうちょ銀行の口座を申し込みました。

セキュリティの関係だと思いますが、これまでの当座での入出金からATMを利用する方法で運営していくように変えていくのも現金を持ち歩かないことで逆にセキュリティの観点からいいのかなと思っています。また、監査において残高証明が届くのが日数が必要ということで事務局が大変だったので証明は後日で通帳の確認で監査をしてもらうようにしました。

会長重点事業も震災の影響もあり中止になりながら最後に笑いを力に！が開催され多くの人に楽しんでいただき社会福祉協議会への募金もできて、オークやりよるな～と感じました。

年間を通じてドネーションも多く集まり会計としても楽しい(楽な)一年だったかなと思います。

運営にかかわるボリュームを簡素化し対外事業に最大のエネルギーを使うことがオークの魅力ですね。

一年間ありがとうございました。



この一年を顧みて

第一副会長 林 穰二

今年度は、多くの事業が復活し充実した一年でした。第一副会長として、例会、理事会への出席はもとより事業、懇親会等にも出来るだけ参加することを心掛けてきました。

次年度はコロナ騒動で中止となっていたレインボーサークルの運動会等が実施される予定です。また、茨木市での竜王戦第四局が実施されます。



当クラブの歴代メンバーが築き上げてきた少年少女将棋大会の実績が誘致につながったとも聞いております。

またとない、この機を活かして少年少女将棋大会、市民将棋大会を盛り上げて行きたいと思います。

忙しい一年となりますが、一丸となって皆さまと共に頑張りたいと思います。

次年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

1年を振り返って

第二副会長・GST 大脇 久徳

コロナ禍から制限が解除され様々なアクティビティが再開されて本来のクラブ活動が展開されました。

第二副会長として少年少女将棋大会やかしの木ボーリング大



会、愛の献血活動、そしてレインボーサークルの支援等多くのアクティビティを通して貴重な経験をさせて頂き、各委員長、副委員長様に改めて感謝申し上げます。有難うございました。

また会長重点事業では会長をはじめ実行委員長のもとメンバーの結束力を感じれたことは感動でもあり誇らしく思いました。

改めまして山本会長、加藤幹事をはじめメンバーの皆様、この一年間本当にお疲れ様でした。

次年度も日々研鑽し一歩ずつ進んでまいりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

この一年を顧みて

会員委員長 脇澤 元

今年度は会員委員長という立場で山本会長を支えていければという思いで着任いたしました。しかし、本来なら積極的に会員を増やす活動を行っていくべき立場にしながら、何もできず1年が過ぎてしまい、ただただ申し訳ない気持ちで一杯です。

次年度は幹事という立場でクラブ運営の一端を担うこととなりますが、今年度出来なかった会員増強にも努力していきたいと思えます。一年間、有難うございました。



「1000 回例会・花見例会・委員会メンバー」 プログラム Co. 委員長 岡田藤男

まず「第 1000 回 9 月第一例会」、そして「クリスマス例会」「花見例会」「最終例会」どれも思い出に残る例会でした。

計画委員長の私は「計画するだけの委員長？」のため副計画委員長の L 西田（政）はじめ計画委員会メンバーにご負担をおかけしました。感謝！感謝！感謝です。

また 1000 回例会は久しぶりの 100% 出席例会になり、皆さんの記憶に残る例会となったことも楽しい思い出です。時間のない中、無理をして出席していただいたメンバーの方々にも感謝です。

オークライオンズクラブの底力を見せていただきました。黄門様ご一行、マツケンサンバ、悪代官・越後屋皆さんご苦勞様でした。

うちのクラブの事業は委員長一人でやるものではない。私の持論でもあり、オークの底に流れる美学でもあると思えます。

活気のある若手の皆さんが今どんどん前に出てきてもらっています。

私も含め若干あなた方より（わずかだけ）年齢を重ねたメンバーも、まだまだ現役で頑張ります。大いにいじってみんなでクラブ生活楽しみましょう。



一年を顧みて

MC・IT 委員長 大岩 賢悟

今年度、MC・IT 委員長を一年間務めさせていただきました。

国際平和ポスター・コンテストのホストクラブとして、開催する大役をいただき、クラブ内での取りまとめ、市内 4 ク

ラブもとりまとめ、市役所や、今回会場変更となった青少年センターとの打ち合わせ等を行いました。

大変プレッシャーもありましたが、皆様のご協力とご参加で、事故もなく無事平和ポスター・コンテストの事業を終えることができました。

猛暑の中の、画用紙の配布や作品の回収、平和ポスターの展示・表彰式をサポートいただいた皆様に本当に感謝申し上げます。

コンテスト参加者が描いた、今年のテーマ「夢見る勇氣」の作品一枚一枚が、世界平和への想いが込められた大切な作品であり、このポスターを描くことで、世界平和を考える機会になったのではないかと思います。

最後に、山本会長、加藤幹事並びに各委員・メンバーの皆様、そして事務局の宮城さん一年間本当にありがとうございました。



一年を顧みて

市民・社会奉仕委員長 稲本拓司

一年を通し、市民・社会奉仕委員会の委員長として様々な経験をさせていただきました。

茨木フェスティバルでは総売上100万円超は初めてだそうです、初めてって嬉しいもんですね。

会長重点事業は、終わってみれば楽しいものでしたが、色々な事柄からの急遽変更などと、時間も無い中で、てんてこ舞いで大変でした。メンバー皆さんをどのようにして巻き込み、どのようにして全員で大きな事業を行えば良いかと悩みましたが、蓋を開けば何の心配もなく、率先して活動していただいて、茨木オークライオンズは素晴らしい団体だと感じることができました。

まだまだ新米ライオンですが、今後様々な事を経験して、ゆっくり頑張っていきます。一年ありがとうございました。



この一年を顧みて

ふれあい福祉委員長 竹内美佐

言葉通り、右も左も前も後ろもわからないまま、ノリで入らせていただいたオークライオンズクラブ。スポンサーの前々会長のL原田にご迷惑をかけませぬようと、私なりになるべく委員会、イベントには参加できたのかな？と思います。副委員長のL脇澤にはおんぶに抱っこ（重くてごめんなさい笑）のまま、一年が過ぎてしまいました。

会長、幹事、諸先輩方、宮城さんにも大変お世話になりました。この一年の様な初めての体験が、この先も沢山あるのかと思うとワクワクします。

次年度も、楽しみながら、社会貢献が出来ますよう頑張りたいと思います。



この一年を顧みて

献血奉仕・糖尿病委員長 西阪由規子

今年度献血奉仕・糖尿病委員会の委員長を一年間務めさせていただきました。

ライオンズクラブに入会して初めての委員長が、日本のライオンズを代表する重要事業の一つである献血奉仕の委員長だったので、不安もありましたが、皆様の活動参加・ご協力そして温かいフォローをいただき無事にのりきることができました。

今回献血の現状に色々ふれる事ができた中で印象的だったのは、10代～30代の献血者が10年間で33%も減少しているということです。

少子高齢化が今後ますます進んでいくと、血液の安定供給に支障をきたす恐れもあるとの事で、今後の献血事業において、若い世代へのアピールをいうことも積極的に取り組んでいく必要性をより強く感じました。

最後に山本会長、加藤幹事並びに各委員・メンバーの皆様、そして事務局の宮城さん一年間本当にありがとうございました。



この一年を顧みて

テールツイスター 大下武

理事になり初めてのテールツイスターをさせて致しました。おかげ様でメンバーの顔、名前を覚え、ドネーションタイム発表で前にたつので私自身も皆さんに覚えて頂けたのかなと思います。

L田畑、L柴生、事務局宮城にも助けていただき感謝しかありません。メンバーの皆様には沢山、ドネーションいただ

きありがとうございました。

最後に山本会長、加藤幹事をはじめ理事、メンバーの皆様、お疲れ様でございました。ありがとうございました。



この一年を顧みて

ライオン・テーマー 鈴木幸次

まずは三役並びに執行部の皆様本当にお疲れ様でした。1000回例会での出席率100%達成は記憶に残る素晴らしい1日となりました。

又、能登半島地震により会長重点事業が余儀なく中止となりましたが、素早い起点でよしもとお笑いチャリティーライブを開催。結果満員御礼の大成功、山本会長のリーダーシップとここぞと言う時のクラブの団結力が発揮された事が頼もしく思われました。

ライオンテーマ委員長としては何度か例会を休む事になりながらも委員会メンバーと連携しながら何とかこなせた様に思います。



1年間の感想

335-B 地区 LCIF 委員 杉本憲一



本年度、初めて地区委員・LCIF 委員を務めさせていただきました。

始めは LCIF の知識もなく、無事に 1 年間務めることができるか不安がありましたが、L 齊藤 LCIF コーディネーター及び L 堀 LCIF 委員長のご指導とご協力により、無事 1 年間の活動を終えることができました。また委員会のメンバーが

皆さん良い方ばかりで、楽しく活動することができました。

まずは、335 複合地区セミナーに参加し、次に 6R の LCIF セミナーを開催して、各クラブへの分かり易い伝え方や伝えるべき大切なポイントを勉強することができました。

そして、6R において寄付 0 クラブを無くし LSP を正会員に対して 100% 達成できるように各クラブ会長及び LCIF コーディネーターにお願いし、各クラブでの LCIF 例会を 12 月～2 月にかけて開催してもらい、ビデオ講習及び講演により各クラブメンバーに LCIF の基礎を勉強していただきました。各クラブの皆様には本当に熱心に話しを聞いていただき、皆様が寄付をしたお金がどのように使われているのかご理解いただけたかと思えます。

おかげをもちまして 6R では多額の LSP と MJF を募ることができました。

335-B 地区では「助け合いキャンペーン 100」というキャッチフレーズですが、LCIF の寄付金が世界の様々な奉仕活動に使われ、またこの災害が多い日本でも使われていることを理解し、助け合いの大切さを実感しました。

今年度で LCIF 委員は終了しますが、今後も 1 メンバーとして LCIF の活動と理解を深めていけるように努めていきたいと思えます。1 年間貴重な経験をさせていただき有難うございました。

第 12 回ビッグバンド JAZZ フェスタ in 茨木



居酒屋 かしの木



献血奉仕活動



7月第一例会



7月第二例会



8月第二例会 4クラブ合同例会



9月第二例会 9クラブ合同例会



10月第一例会 交通安全例会



10月第二例会 ローズ合同例会



12月第一例会



12月第二例会 Xmas 例会



1月第一例会 新年例会



1月第二例会 すき焼き例会



3月第一例会



3月第二例会 花見例会



4月第一例会



6月第二例会 最終例会



4月第二例会



5月第一例会



5月第二例会



第 25 回茨木市長杯少年少女将棋大会



ふれあいフェスタ



平和ポスター展



4クラブゴルフ大会

会長就任記念コンペ



かしの木ボーリング大会



笑いを力に！チャリティーライブ





発行：茨木オークリオンズクラブ
 編集：2023-24 IT・MC委員会
 〒567-0034 大阪府茨木市中穂積1丁目6-51
 Tel.072-626-1431 Fax.072-625-7821
 info@ibaraki-oak-lc.com

茨木オークリオンズクラブ 🔍

<http://www.ibaraki-oak-lc.com>

